

＊北海道公報

発行 北 海 道
編集 総 務 部
文 書 課
電話 011-204-5035
FAX 011-232-1385

目 次 ページ

規 則

○精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の一部を改正する規則
..... (障がい者保健福祉課) 1

規 則

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和6年3月29日

北海道知事 鈴木直道

北海道規則第32号

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の一部を改正する規則

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則（昭和44年北海道規則第92号）の一部を次のように改正する。

第4条第1項中「並びに」を「、第40条の5第1項並びに」に改める。

第14条第1項中「同意書」を「医療保護入院に関する家族等同意書」に改め、同条第2項中「前項の同意書」を「第1項の医療保護入院に関する家族等同意書及び前項の医療保護入院期間の更新に関する家族等同意書」に改め、同項を同条第3項とし、同条第1項の次に次の1項を加える。

2 法第33条第6項の同意は、別記第16号様式の2の医療保護入院期間の更新に関する家族等同意書をもってしなければならない。

第15条中「特定医師による医療保護入院者（第33条第1項・第3項又は第33条第2項・第3項）の入院届及び記録」を「特定医師による医療保護入院者の入院届及び記録」に改める。

第15条の2中「第33条第7項」を「第33条第9項」に改め、同条第2号中「特定医師による医療保護入院者（第33条第1項・第3項又は第33条第2項・第3項）の入院届及び記録」を「特定医師による医療保護入院者の入院届及び記録」に改め、同条に次の1号を加える。

(3) 法第33条第6項の規定による措置を採った場合 医療保護入院者の入院期間更新届（別記第17号様式の4）

第15条の4中「第33条の7第4項」を「第33条の6第4項」に、「特定医師による応急入

院（第33条の7第2項）届及び記録」を「特定医師による応急入院届及び記録」に改める。

第15条の5中「第33条の7第5項」を「第33条の6第5項」に改め、同条第1号中「第33条の7第1項」を「第33条の6第1項」に改め、同条第2号中「第33条の7第2項後段」を「第33条の6第2項後段」に、「特定医師による応急入院（第33条の7第2項）届及び記録」を「特定医師による応急入院届及び記録」に改める。

第15条の7を削る。

第18条中「任意入院患者の定期病状報告書」を「任意入院者の定期病状報告書」に改める。
別記第1号様式の2中「任意入院患者を退院制限した場合の記録」を「任意入院者を退院

制限した場合の記録」に、

任意入院患者

任意入院者

に、「の理由」を「は、その理由」に改め、同様式末尾欄外記載上の留意事項2の事項中「第33条の7第2項入院」を「第33条の6第2項入院」に改める。

別記第3号様式中

「

第27条第1項

第27条第2項

第29条の2第1

第29条の4第2

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第34条第1項

第34条第3項

第38条の6第1

第38条の7第2

第45条の2第4

項

項

の規定により、次のとおり診察を命じます。

項

項

項

を

」

「

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）

第27条第1項
第27条第2項
第29条の2第1
第29条の4第2
第34条第1項
第34条第3項
第38条の6第1
第38条の7第2
第40条の5第1
第45条の2第4

」

項
項
項
項

に改める。

別記第4号様式の4（表）中

「

4　もしも入院中の治療内容や生活について、あなたに不明な点、納得のいかない点がありましたら、遠慮なく病院の職員にお話してください。

」

を

「

4　入院日から7日以内に、退院後の生活環境に関し、あなたやご家族等からのご相談に応じ、必要な情報の提供や助言、援助等を行う職員として、退院後生活環境相談員が選任されます。

5　介護保険や障害福祉のサービスの利用を希望される場合又はその必要性がある場合、介護や障害福祉に関する相談先を紹介しますので、退院後生活環境相談員等の病院の職員にお問い合わせください。

6　もしも入院中の治療内容や生活について、あなたに不明な点、納得のいかない点がありましたら、遠慮なく病院の職員にお話してください。

7　あなたの入院中、もしもあなたが病院の職員から虐待を受けた場合、下記に届け出ることができます。また、もしも他の入院患者さんが病院の職員から虐待を

」

受けたのを見かけた場合も、下記に通報してください。

」

に改める。

別記第16号様式中「同　　意　　書」を「医療保護入院に関する家族等同意書」に、

「

生　年　月　日	年　　月　　日
職　　　　　業	

」

を

「

生　年　月　日	年　　月　　日
---------	---------

」

に改め、同様式末尾欄外中「場合は、」の次に「原則として」を加える。

別記第16号様式の次に次の1様式を加える。

別記第16号様式の2（第14条関係）

医療保護入院期間の更新に関する家族等同意書

1　医療保護入院期間の更新に関する同意の対象となる精神障害者本人

住　　　所	〒
フ　リ　ガ　ナ	
氏　　　名	
生　年　月　日	年　　月　　日

2　医療保護入院期間の更新に関する同意者の申告事項

住　　　所	〒	※〒
フ　リ　ガ　ナ		
氏　　　名		
生　年　月　日	年　　月　　日	年　　月　　日

本人との関係（○を記入してください。）
1　配偶者　　　2　父母（親権者で　ある・ない）
3　祖父母等　　　4　子・孫等　　　5　兄弟姉妹　　　6　後見人又は保佐人
7　家庭裁判所が選任した扶養義務者（　　　　　　　　　）
（選任年月日　年　　月　　日）

令和6年（2024年）3月29日（金曜日）

北　海　道　公　報

号外第9号　2

なお、次のいずれにも該当しないことを申し添えます。

- ① 本人と訴訟をした者、本人と訴訟をした者の配偶者又は直系血族
- ② 家庭裁判所で免ぜられた法定代理人、保佐人、補助人
- ③ 患者に対する虐待等（配偶者暴力、児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待）を行っている者
- ④ 精神の機能の障害により同意又は不同意の意思表示を適切に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
- ⑤ 未成年者

※親権者が両親の場合は、両親とも署名の上記入してください。

以上について、事実と相違ないことを確認した上で、1の者について貴病院における入院の期間を更新させることに同意します。

精神科病院管理者様

年 月 日

氏 名
(氏 名)

別記第17号様式中「特定医師による医療保護入院者（第33条第1項・第3項又は第33条第2項・第3項）の入院届及び記録」を「特定医師による医療保護入院者の入院届及び記録」に、

「 管理者名 」

を

「 管理者名

下記の者が、特定医師の診察の結果、医療保護入院しましたので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条第9項の規定により届け出ます。」

に、「の理由」を「は、その理由」に、「家 族 等」を「同意をした家族等」に改め、同様式末尾欄外記載上の留意事項2の事項中「第33条の7第2項入院」を「第33条の6第2項入院」に改め、同様式末尾欄外記載上の留意事項9の事項中「場合は」の次に「、原則として」を加え、同様式末尾欄外記載上の留意事項11の事項中「は記録の場合について記載する」を「の欄は、北海道知事への届出時点では記入を要しないが、本様式を院内で記録として保存する際には、記載しておく」に改める。

別記第17号様式の3中

「 管理者名 」

を

「 管理者名

下記の者が医療保護入院しましたので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条第9項の規定により届け出ます。」

に、

「 第34条による移送の有無 あり ・ なし 」

を

「 今回の医療保護入院の入院期間 年 月 日まで

第34条による移送の有無 あり ・ なし 」

に、

「 入院を必要と認めた精神保健指定医 署名

氏名 」

を

「 入院を必要と認めた精神保健指定医 署名

氏名

選任された退院後生活環境相談員の

氏名 」

に改め、同様式末尾欄外記載上の留意事項2の事項中「第33条の7第2項入院」を「第33条の6第2項入院」に改め、同様式末尾欄外記載上の留意事項中10の事項を削り、9の事項を10の事項とし、同様式末尾欄外記載上の留意事項8の事項中「場合は」の次に「、原則として」を加え、同事項を同様式末尾欄外記載上の留意事項9の事項とし、同様式末尾欄外記載上の留意事項中3の事項から7の事項までを1事項ずつ繰り下げ、2の事項の次に次の1事項を加える。

3 今回の医療保護入院の入院期間の欄は、家族等の同意により入院した日から3月を上限とした年月日を記載すること。

別記第17号様式の4を次のように改める。

別記第17号様式の4（第15条の2関係）

医療保護入院者の入院期間更新届

年 月 日

北海道知事様

病 院 名

所 在 地

管理者名

下記の医療保護入院者の入院期間を更新しましたので、精神保健及び精神障害者福

社に関する法律第33条第9項の規定により届け出ます。

医療保護入院者	フリガナ 氏 名	(男・女)	生年 月 日	年 月 日 (年齢 歳)
	住 所			
医療保護入院年月日 (第33条第1項・第2項による入院)	年 月 日		今回の入院年月日 入 院 形 態	年 月 日
入院届又は前回の入院期間更新届での入院期間	年 月 日 ～ 年 月 日		本更新後の入院期間	年 月 日までの
病 名	1 主たる精神障害	2 従たる精神障害	3 身体合併症	
	ICDカテゴリー()	ICDカテゴリー()		
入院又は前回更新日からの治療の内容と、その結果 (更新前の入院期間に係る病状又は状態像の経過の概要)				
症 状 の 経 過	1 悪化傾向 2 動揺傾向 3 不変 4 改善傾向			
<現在の精神症状>	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他()			
	II 知能(軽度障害、中等度障害、重度障害)			
	III 記憶 1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他()			
	IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他()			
	V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 減裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他()			
VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他()				
VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷				

<その他の重要な症状> <問題行動等> <現在の状態像>	5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他() VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他() IX 食行動 1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他() 1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存() 4 その他() 1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他() 1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他()	
	医療保護入院の必要性 (患者自身の病 気に対する理 解の程度を含 め、任意入院 が行われる状 態にないと判 断した理由に ついて記載す ること。)	
	今後の治療方針 (患者本人の病識 や治療への意欲を 得るための取組等 を含む。)	
	本更新に係る診察 の年月日	年 月 日
	更新が必要と診断 した精神保健指定 医氏名	署名
退院に向けた取組 の状況(選任され た退院後生活環境 相談員との相談状 況、地域援助事業 者の紹介状況、医	医療保護入院者退院支援委員会での審議が行われた年月日 (年 月 日)	

療保護入院者退院 支援委員会での審 議内容等について)					
今回の更新の直前 の入院又は更新に 同意をした家族等	氏 名	(男・女)	続柄	生年 月日	年 月 日生
		(男・女)	続柄		年 月 日生
	住 所				
	1 配偶者 2 父母（親権者である・ない） 3 祖父母等 4 子・孫等 5 兄弟姉妹 6 後見人又は保佐人 7 家庭裁判所が選任した扶養義務者（選任年月日 年 月 日） 8 市町村長				
今回の更新に同意 をした家族等 （上記の家族等と 同じ場合は記載不 要）	氏 名	(男・女)	続柄	生年 月日	年 月 日生
		(男・女)	続柄		年 月 日生
	住 所				
	1 配偶者 2 父母（親権者である・ない） 3 祖父母等 4 子・孫等 5 兄弟姉妹 6 後見人又は保佐人 7 家庭裁判所が選任した扶養義務者（選任年月日 年 月 日） 8 市町村長				
法第33条第8項の 規定に基づき家族 等の同意を得たも のとみなした場合 は、その旨等	☐ 法第33条第8項の規定に基づき、家族等の同意を得たものとみなした				
	家族等へ通知を發した日		年 月 日		
	家族等に示した回答期限		年 月 日		
	(回答期限は、通知を發した日から2週間を経過した日であることに留意)				
通知をした家族等との連絡等の記録（直近2件）					
年 月 日 (☐ 面会 ☐ 電話 ☐ その他 ())					
年 月 日 (☐ 面会 ☐ 電話 ☐ その他 ())					
審査会意見					
都道府県の措置					
記載上の留意事項					
1 ☐ 内は、精神保健指定医の診察に基づいて記載すること。ただし、第34条の規定による移送が行われた場合は、この欄は記載する必要がない。					

2 今回の入院年月日の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、入院形態の欄にそのときの入院形態を記載すること（特定医師による入院を含む。その場合は「第33条第1項・第3項入院」、「第33条第2項・第3項入院」又は「第33条の6第2項入院」と記載すること。）。
なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。

3 本更新後の入院期間の欄は、医療保護入院者退院支援委員会で審議された入院期間に留意した上で、当該医療保護入院から6月を経過するまでの間は3月、入院から6月を経過した後は6月を上限とした期限を定めて記載すること。

4 現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像の欄は、一般にこの書類作成までの過去数箇月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。

5 更新が必要と診断した精神保健指定医氏名の欄は、精神保健指定医自身が署名すること。

6 退院に向けた取組の状況の欄については、今回の更新に当たって医療保護入院者退院支援委員会の審議が行われた年月日を記載すること。また、令和5年11月27日付障発1127第7号「措置入院者及び医療保護入院者の退院促進に関する措置について」（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）の別添様式2「医療保護入院者退院支援委員会審議記録」の写しを添付すること。その上で、
① 退院後生活環境相談員との最初の相談を行った時期やその後の相談の頻度等、
② 地域援助事業者の紹介の有無や紹介した地域援助事業者との相談の状況等、
③ 医療保護入院者退院支援委員会での審議内容等
について記載すること。

7 家族等の氏名欄は、親権者が両親の場合は、原則として2人目を記載すること。

8 家族等の住所欄は、親権者が両親で住所が異なる場合に2つ目を記載すること。

9 法第33条第8項の規定に基づき、家族等の同意を得たものとみなす場合は、「法第33条第8項の規定に基づき家族等の同意を得たものとみなした場合」にレ点を入れることとし、同意書の添付は不要とする。ただし、法第33条第6項による入院の更新に関する同意の通知をした時から更新するまでの間に、当該通知に係る家族等が、
① 法第5条第2項に規定する家族等に該当しなくなったとき
② 死亡したとき
③ 意思を表示できないとき
のいずれかの事由に該当することを把握した場合には、同意を得たものとみなすことができないことに留意すること。また、同意を得たものとみなす場合は、通知をした家族等との連絡等の記録（直近2件）の欄に、直前の入院期間中、通知をした家族等と直近2回の連絡を取った際の年月日及び手段について記載すること（通知をした家

族等が親権者の両親である場合は、父又は母のいずれかと直近2回の連絡を取った際の年月日及び手段について記載すること。）。 10 今回の更新に同意をした家族等の欄に記載がある場合は、法第33条第8項による同意を得たものとみなさないことに留意すること。 11 選択肢の欄は、それぞれ該当する算用数字、ローマ数字等を○で囲むこと。 別記第17号様式の6中「特定医師による応急入院（第33条の7第2項）届及び記録」を「特定医師による応急入院届及び記録」に、 「管理者名 を 「管理者名 下記の者が、特定医師の診察の結果、応急入院しましたので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条の6第5項の規定により届け出ます。」 に、「の理由」を「は、その理由」に改め、同様式末尾欄外記載上の留意事項8の事項中「は記録の場合について記載する」を「の欄は、北海道知事への届出時点では記入を要しないが、本様式を院内で記録として保存する際には、記載しておく」に改める。 別記第17号様式の7中 「管理者名 を 「管理者名 下記の者が応急入院しましたので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条の6第5項の規定により届け出ます。」 に改め、「（特定医師の診察により入院した場合には特定医師の採った措置の妥当性について記載すること。）」を削る。 別記第17号様式の8中 「管理者名 を 「管理者名 下記の措置入院者について、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第38条の2第1項の規定により報告します。」 に、 <table><tr><td rowspan="2">病名</td><td>1主たる精神障害</td><td>2従たる精神障害</td><td>3身体合併症</td></tr><tr><td>ICDカテゴリー（ ）</td><td>ICDカテゴリー（ ）</td><td></td></tr><tr><td>生活歴及び現病歴</td><td colspan="3"></td></tr></table>	病名	1主たる精神障害	2従たる精神障害	3身体合併症	ICDカテゴリー（ ）	ICDカテゴリー（ ）		生活歴及び現病歴				<table><tr><td rowspan="2">（ 推定発病年月、精神 科受診歴等を記載す ること。）</td><td colspan="3">（陳述者氏名続柄）</td></tr><tr><td>初回入院期間 年月日～ 年月日</td><td>前回入院期間 年月日～ 年月日</td><td>入院回数 計回</td></tr></table> を 「 <table><tr><td rowspan="2">病名</td><td>1主たる精神障害</td><td>2従たる精神障害</td><td>3身体合併症</td></tr><tr><td>ICDカテゴリー（ ）</td><td>ICDカテゴリー（ ）</td><td></td></tr></table> に、 「 <table><tr><td>重大な問題行動（Aはこれまでの、Bは今後おそれのある行動）</td><td>現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像（該当のローマ数字及び算用数字を○で囲むこと。）</td></tr></table> を 「 <table><tr><td rowspan="2">退院に向けた取組の状況（選任された退院後生活環境相談員との相談状況、地域援助事業者の紹介状況等について）</td><td>選任された退院後生活環境相談員（ ）</td></tr><tr><td>地域援助事業者の紹介について本人や家族等からの求め又は必要性の有無（あり・なし） 上記で「あり」の場合の紹介状況（ ）</td></tr></table> <table><tr><td>重大な問題行動（Aはこれまでの、Bは今後おそれのある行動）</td><td>現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像（該当のローマ数字及び算用数字を○で囲むこと。）</td></tr></table> に、「診断した」を「診察した」に改め、同様式末尾欄外記載上の留意事項2の事項中「第33条の7第2項入院」を「第33条の6第2項入院」に改め、同様式末尾欄外記載上の留意事項中3の事項から6の事項までを削り、同様式末尾欄外記載上の留意事項7の事項中「すべて」を「全て」に改め、同事項を同様式末尾欄外記載上の留意事項3の事項とし、同様式末尾欄外記載上の留意事項中8の事項を4の事項とし、9の事項を5の事項とし、同様式末尾欄外記載上の留意事項10の事項中「診断した」を「診察	（ 推定発病年月、精神 科受診歴等を記載す ること。）	（陳述者氏名 続柄 ）			初回入院期間 年月日～ 年月日	前回入院期間 年月日～ 年月日	入院回数 計回	病名	1主たる精神障害	2従たる精神障害	3身体合併症	ICDカテゴリー（ ）	ICDカテゴリー（ ）		重大な問題行動（Aはこれまでの、Bは今後おそれのある行動）	現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像（該当のローマ数字及び算用数字を○で囲むこと。）	退院に向けた取組の状況（選任された退院後生活環境相談員との相談状況、地域援助事業者の紹介状況等について）	選任された退院後生活環境相談員（ ）	地域援助事業者の紹介について本人や家族等からの求め又は必要性の有無（あり・なし） 上記で「あり」の場合の紹介状況（ ）	重大な問題行動（Aはこれまでの、Bは今後おそれのある行動）	現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像（該当のローマ数字及び算用数字を○で囲むこと。）
病名		1主たる精神障害	2従たる精神障害	3身体合併症																													
	ICDカテゴリー（ ）	ICDカテゴリー（ ）																															
生活歴及び現病歴																																	
（ 推定発病年月、精神 科受診歴等を記載す ること。）	（陳述者氏名 続柄 ）																																
	初回入院期間 年月日～ 年月日	前回入院期間 年月日～ 年月日	入院回数 計回																														
病名	1主たる精神障害	2従たる精神障害	3身体合併症																														
	ICDカテゴリー（ ）	ICDカテゴリー（ ）																															
重大な問題行動（Aはこれまでの、Bは今後おそれのある行動）	現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像（該当のローマ数字及び算用数字を○で囲むこと。）																																
退院に向けた取組の状況（選任された退院後生活環境相談員との相談状況、地域援助事業者の紹介状況等について）	選任された退院後生活環境相談員（ ）																																
	地域援助事業者の紹介について本人や家族等からの求め又は必要性の有無（あり・なし） 上記で「あり」の場合の紹介状況（ ）																																
重大な問題行動（Aはこれまでの、Bは今後おそれのある行動）	現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像（該当のローマ数字及び算用数字を○で囲むこと。）																																

した」に改め、同事項を同様式末尾欄外記載上の留意事項6の事項とし、同事項の次に次の1事項を追加する。

7 退院に向けた取組の状況の欄については、退院後生活環境相談員との最初の相談を行った時期、その後の相談の頻度、地域援助事業者の紹介の有無、紹介した地域援助事業者との相談の状況等について記載すること。

別記第17号様式の8末尾欄外記載上の留意事項11の事項を8の事項とする。

別記第17号様式の9を削る。

別記第24号様式中「任意入院患者の定期病状報告書」を「任意入院者の定期病状報告書」に、

「管理者名

を

「管理者名

下記の任意入院者について、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第38条の2第2項の規定により報告します。

に、

生活歴及び現病歴 (推定発病年月、精神科受診歴等を記載すること。)	(陳述者氏名 続柄)	
初回入院期間	年 月 日～	年 月 日 (入院形態)
前回入院期間	年 月 日～	年 月 日 (入院形態)
初回から前回までの入院回数	計 回	
過去12箇月間の外泊の実績	1 不定期的 2 定期的 (i 月単位 ii 数か月単位 iii 盆や正月) 3 なし	
過去12箇月間の治療の内容と、その結果 (過去12箇月間に行動制限が行われた際はその必要性について)		

を

「

過去12箇月間の治療の内容と、その結果 (過去12箇月間の病状又は状態像の経過の概要、並びに過去12箇	
---	--

月間に行動制限が行われた際はその必要性について)	
--------------------------	--

に、

「今後の退院へ向けた取り組み

を

「今後の治療方針

に改め、同様式末

尾欄外記載上の留意事項2の事項中「第33条の7第2項入院」を「第33条の6第2項入院」に改め、同様式末尾欄外記載上の留意事項中3の事項を次のように改める。

3 入院後の診察により精神症状が重症であって、かつ、慢性的な症状を呈することにより入院の継続が明らかに必要な病状であること等から1年以上の入院が必要であると判断される場合には、「任意入院継続の必要性」の欄にその旨を記載すること。

別記第24号様式末尾欄外記載上の留意事項中4の事項から6の事項までを削り、7の事項を4の事項とし、8の事項から10の事項までを3事項ずつ繰り上げる。

附 則

- この規則は、令和6年4月1日から施行する。
- この規則の施行の際現にこの規則による改正前の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の規定に基づいて作成されている用紙がある場合には、この規則による改正後の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の規定にかかわらず、当分の間、必要な調整をして使用することを妨げない。